



平成 18年 3月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 2月 7日

上場会社名 タキロン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4215

本社所在都道府県

(URL <http://www.takiron.co.jp>)

大阪府

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 森下 誠二

問合せ先責任者 役職名 財務部長 氏名 武田 豊

TEL (06) 6267 - 2778

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

引当金の計上基準、税金費用の計算等に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結範囲及び持分法の適用の異動状況 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期の業績概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)百万円未満は切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月第3四半期	49,905	8.6	1,564	52.3	1,452	56.5
17年 3月第3四半期	54,576	14.1	3,282	131.3	3,340	148.0
(参考)17年 3月期	72,135		4,308		4,107	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年 3月第3四半期	730	49.9	9.91	9.84
17年 3月第3四半期	1,457	122.8	19.84	19.62
(参考)17年 3月期	1,736		22.83	22.65

(注) 売上高、営業利益などのパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年 3月第3四半期	79,364	39,320	49.6	532.46
17年 3月第3四半期	81,272	38,353	47.2	521.83
(参考)17年 3月期	82,129	38,760	47.2	525.53

(連結キャッシュ・フローの状況)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年 3月第3四半期	1,111	3,346	252	7,322
17年 3月第3四半期	1,103	2,250	739	8,060
(参考)17年 3月期	5,868	3,069	753	12,015

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

通 期	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
	67,000	2,000	900	12.19

平成17年11月17日に発表しました平成18年3月期の業績予想を修正しております。修正内容につきましては、本日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後さまざまな要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。

経営成績及び財政状態の概況(連結)

(1) 経営成績

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)の連結業績につきましては、売上高499億5百万円(対前年同期比8.6%減)、経常利益14億5千2百万円(対前年同期比56.5%減)、四半期純利益7億3千万円(対前年同期比49.9%減)となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住設建材関連部門

波板、雨とい、管工機材は、今冬の寒波(特に雪)の影響による工事の遅れなどにより低迷しました。特に波板は、昨年の台風の張替え需要の反動もあり大幅な減少となりました。

ポリカーボネート平板は、上期に好調に推移したエクステリア用途で在庫調整の動きがあり低迷しました。

床材は、上期に引き続き、マンションなど集合住宅の新築・改修工事の堅調な需要に支えられ、防滑性シート「タキストロン」、階段用床材「タキステップ」が順調に推移しました。特に「タキステップ」については、耐久性向上を目的とした全面リニューアル改修工事の増加が奏功しました。

その結果、部門の業績は、売上高237億1千2百万円(対前年同期比7.1%減)、営業利益は、14億9千8百万円(対前年同期比32.3%減)となりました。

産業資材関連部門

プレート産業資材は、半導体・液晶装置分野の需給調整局面から上昇局面への動きがみられ、徐々に工業用プレートを中心に需要が伸長しましたが、上期の不振をカバーするまでには至りませんでした。また、「ペテック」(PETプレート)については高機能材の出荷も上向き、堅調に推移しています。

土木資材は、「ジオテキスタイル」(ごみ最終処分場用資材、宅地造成用グリシート)が順調でしたが、他は公共工事向けなどを中心に不振でした。農・園芸資材は、鳥・獣害防止用、ホームセンター向け「トリカルネット」が順調でしたが、シーズンオフの「新竹」、新材は不振でした。

電材は、電子部品(バス・タクシー用LEDパネル、屋外用LEDユニット及び駐車場用LEDユニット)の販売が好調に推移しました。

その結果、部門の業績は、売上高247億3千5百万円(対前年同期比9.4%減)、営業利益2億2千6百万円(対前年同期比78.0%減)となりました。

メディカル関連部門

骨片接合材料関連は、骨伝導性と分解吸収性をあわせ持つ「スーパーフィクソープ30」の販売が、胸部外科分野向けは順調に伸長しましたが、整形外科分野向けは慢性疾患の症例減少もあり伸び悩みました。一方、「フィクソープMX」(顎顔面分野)の販売は、2005年10月1日より販売を自社に移管しましたが、販売体制構築に時間を要していることもあり、低調に推移しました。

導電性粘着材は、輸出の減少及び国内主要顧客の製品切り替え直前の在庫調整により、低調に推移しました。

その結果、部門の業績は、売上高7億9千2百万円(対前年同期比16.8%減)、営業利益7百万円(対前年同期比95.7%減)となりました。

工事関連その他部門

上下水道・水処理部門の受主状況は、国及び地方財政の悪化に伴う公共事業の縮減により、計画事業の見直し、中止、延期等による受注高の減少に加え、低価格での受主が常態化しつつあります。また、老朽化した下水道管の補修事業は第1、第2四半期は非常に好調に推移しましたが、第3四半期は伸びが鈍化しました。一方、水処理関連の浄化槽向け接触材が順調に推移しました。

その結果、部門の業績は、売上高6億6千4百万円(対前年同期比16.4%減)、営業損失1億6千8百万円(前年同期は1億2千6百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前期末から46億9千3百万円減少し、73億2千2百万円となりました。営業活動によるキャッシュフローは、たな卸資産の増加償却及び法人税等の支払による影響が大きく、11億1千1百万円の資金の減少となりました。投資活動によるキャッシュフローは、主に有形固定資産の取得による支出により33億4千6百万円の資金の減少となりました。財務活動によるキャッシュフローは、主に配当金の支払により2億5千2百万円の資金の減少となりました。

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日)		前 期 (平成17年3月31日)		比較増減	前第3四半期 (平成16年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	45,886	57.8	50,419	61.4	4,532	49,664	61.1
現金・預金	7,323		12,015		4,691	8,066	
受取手形・売掛金	26,122		27,612		1,489	29,804	
有価証券	20		20		-	20	
たな卸資産	9,360		8,194		1,165	8,459	
繰延税金資産	507		1,187		679	1,074	
その他の流動資産	2,841		1,694		1,146	2,540	
貸倒引当金	289		305		16	300	
固定資産	33,477	42.2	31,709	38.6	1,767	31,608	38.9
有形固定資産	22,962	29.0	22,472	27.3	489	22,229	27.4
無形固定資産	578	0.7	640	0.8	61	678	0.8
投資その他の資産	9,936	12.5	8,596	10.5	1,339	8,700	10.7
資産合計	79,364	100.0	82,129	100.0	2,765	81,272	100.0
(負債の部)							
流動負債	24,567	30.9	27,829	33.9	3,262	27,572	33.9
支払手形・買掛金	16,708		18,345		1,636	18,250	
短期借入金	3,140		2,774		365	3,060	
その他の流動負債	4,719		6,707		1,990	6,261	
固定負債	14,273	18.0	14,363	17.5	90	14,166	17.4
社 債	150		175		25	200	
長期借入金	1,800		1,800		-	1,525	
退職給付引当金	11,313		11,466		152	11,558	
その他の固定負債	1,009		921		87	882	
負債合計	38,840	48.9	42,192	51.4	3,352	41,739	51.3
(少数株主持分)							
少数株主持分	1,202	1.5	1,176	1.4	26	1,180	1.5
(資本の部)							
資 本 金	15,189	19.1	15,189	18.5	-	15,189	18.7
資本剰余金	14,664	18.5	14,661	17.8	3	14,661	18.0
利益剰余金	9,662	12.2	9,656	11.8	5	9,375	11.5
その他有価証券評価差額金	1,276	1.6	803	1.0	473	719	0.9
為替換算調整勘定	30	0.0	47	0.1	17	34	0.0
自己株式	1,441	1.8	1,503	1.8	61	1,557	1.9
資本合計	39,320	49.6	38,760	47.2	560	38,353	47.2
負債、少数株主持分および資本合計	79,364	100.0	82,129	100.0	2,765	81,272	100.0

四半期連結(要約)損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年4月1日~17年12月31日)		前第3四半期 (平成16年4月1日~16年12月31日)		比較増減 金 額	前 期 (平成16年4月1日~17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
		%		%			%
売 上 高	49,905	100.0	54,576	100.0	4,670	72,135	100.0
売 上 原 価	34,764	69.7	37,247	68.3	2,483	50,276	69.7
売 上 総 利 益	15,141	30.3	17,328	31.7	2,187	21,859	30.3
販売費・一般管理費	13,576	27.2	14,046	25.7	469	17,550	24.3
営 業 利 益	1,564	3.1	3,282	6.0	1,718	4,308	6.0
営業外収益	228		329		101	428	
営業外費用	340		271		68	630	
経 常 利 益	1,452	2.9	3,340	6.1	1,887	4,107	5.7
特別利益	33		16		17	117	
特別損失	49		148		99	327	
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,436	2.9	3,208	5.9	1,771	3,897	5.4
税金費用	668		1,706		1,038	2,118	
少数株主利益(減算)	37		44		6	42	
四半期(当期)純利益	730	1.5	1,457	2.7	726	1,736	2.4

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年4月1日～ 17年12月31日)	前第3四半期 (平成16年4月1日～ 16年12月31日)	前 期 (平成16年4月1日～ 17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純損益	1,436	3,208	3,897
減価償却費	2,090	1,937	2,540
退職給付引当金の増減額	152	4	86
有価証券売却損益	8	10	10
売上債権の増減額	1,339	3,519	1,348
たな卸資産の増減額	1,165	556	295
仕入債務の増減額	1,636	1,545	1,641
法人税等の支払額	2,057	1,429	1,431
その他	960	75	961
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111	1,103	5,868
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	501	-	-
有形固定資産の取得による支出	2,542	2,227	3,063
有形固定資産の売却による収入	0	179	237
投資有価証券の取得による支出	214	111	114
投資有価証券の売却による収入	32	68	89
その他	121	160	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,346	2,250	3,069
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	362	850	598
長期借入れによる収入	-	-	300
長期借入金の返済による支出	6	25	77
社債の発行による収入	-	250	250
少数株主の増資引受による払込額	-	99	99
自己株式の取得による支出	9	13	19
配当金の支払額	644	497	520
その他	45	76	123
財務活動によるキャッシュ・フロー	252	739	753
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	2	1
現金及び現金同等物の増減額	4,693	404	3,550
現金及び現金同等物の期首残高	12,015	8,464	8,464
現金及び現金同等物の期末残高	7,322	8,060	12,015

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(平成17年4月1日~17年12月31日)

(単位：百万円)

	住設建材 関 連	産業資材 関 連	メディカル 関 連	工事関連 そ の 他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,712	24,735	792	664	49,905	-	49,905
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	772	772	(772)	-
計	23,712	24,735	792	1,437	50,678	(772)	49,905
営 業 費 用	22,214	24,508	785	1,605	49,114	772	48,341
営業利益又は営業損失()	1,498	226	7	168	1,564	(0)	1,564

前第3四半期(平成16年4月1日~16年12月31日)

(単位：百万円)

	住設建材 関 連	産業資材 関 連	メディカル 関 連	工事関連 そ の 他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	25,524	27,303	952	795	54,576	-	54,576
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	907	907	(907)	-
計	25,524	27,303	952	1,702	55,483	(907)	54,576
営 業 費 用	23,310	26,275	786	1,828	52,201	907	51,293
営業利益又は営業損失()	2,214	1,028	165	126	3,282	(0)	3,282

前期(平成16年4月1日~17年3月31日)

(単位：百万円)

	住設建材 関 連	産業資材 関 連	メディカル 関 連	工事関連 そ の 他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,904	36,322	1,229	1,679	72,135	-	72,135
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	1,192	1,192	(1,192)	-
計	32,904	36,322	1,229	2,871	73,238	(1,192)	72,135
営 業 費 用	30,176	35,067	1,000	2,774	69,019	1,192	67,827
営業利益又は営業損失()	2,727	1,255	228	96	4,308	(0)	4,308

(注) 1. 事業区分の方法

製品の使用目的を考慮し、住設建材関連、産業資材関連、メディカル関連及び工事関連その他に区分しております。

2. 各区分の主要な製品

住設建材関連	ポリカーポネート製品、床材、外装建材、管工機材、住器製品、エクステリア製品、内装建材他
産業資材関連	硬質塩ビプレート、ペットプレート、アクリルプレート、カラー鉄線、カラー鋼管、トリカルネット、トリカルパイプ、クイックサイン表示器他
メディカル関連	フィクソープ(骨片接合材)、ゲルロード(導電性粘着材)
工事関連その他	上水道施設、下水道施設、排水処理装置、当社グループの製品運送及び保管業務等他